

令和2年 7月29日

報道機関 各位

## 海の魚をDNAで簡単に識別する技術が確立 ～高大連携活動で活用へ～

富山大学学術研究部理学系 山崎裕治准教授は、食卓に並ぶ海の魚のDNAを調べ、種類を識別する簡易分析技術を確立しました。

富山県の沿岸で漁獲され、食卓に並ぶアジ、イワシ、カタクチイワシ、ブリなどの魚からDNAを取り出し、特定のDNA部位を識別する実験手法を用いて、魚種を識別する方法を確立しました。この方法は、従来行われていたDNA分析と比べて、簡易かつ安全な操作で行えるため、環境教育における活用も期待されます。

また、この技術を用いて、様々な魚を識別することを目的とした高大連携活動（氷見高校探究活動）を次の通り実施します。

つきましては、取材・報道方どうぞよろしくお取り計らいお願い申し上げます。

【日時】8月4日（火）午前9時30分～午後4時

【場所】ひみラボ（富山大学理学部・氷見市連携研究室）

富山県氷見市惣領1927

【内容】海の魚を識別するためのDNA実習

※8月3日（野外調査）、5日（DNA実習）にも関連する活動を実施します。

※取材に際しましては、マスクの着用等、感染症対策へのご配慮をお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 学術研究部理学系（准教授・山崎裕治）

TEL. 076-445-6642